

瑠璃



彼杵中学校
校長 川内康範

35キロウォークお疲れさまでした。
PTAの皆様、学校運営協議会、
婦人会の皆様
ご協力ありがとうございました



27日(土)、天気に恵まれ
PTAによる「第22回親子
ふれあい35キロウォーク」
が実施されました。諸行事に
より参加できない生徒もい
ましたが、多くの生徒が参加
し、川棚駅前↓波佐見町↓武
雄市西川登↓嬉野市↓総合
会館の35キロを完歩するこ
とができました。35キロ歩くことはたとえ時間があ
ったとしてもなかなかできるものではありません。
行事としてあるから初めて体験できるのです。生徒
にとってたいへん貴重
な体験になったと思
います。私は、行事が終
るまではこの運営がど
れだけ大変なのか、正直
あまり理解できていま
せんでした。しかし、行



事を終え、自分でも歩かせていただいて、歩く側に
寄り添った心のこもった、万全の体制が作られてい
たと感じました。本当にありがとうございました。



頑張りました。感動のゴールです！



みんな、いい笑顔です。ゴールした後の
うどんは本当においしかったです。今年
も母親部と婦人会の皆さんに作って
いただきました。ごちそうさまでした。

個人的な話ですが……(続き)

大人の道德の時間です。

店のレジで入力されなかった商品の代金を支払い
に私が戻ったかどうかという話です。悩んだ末、私
がとった行動は次のとおりです。結局私は踵(きび
す)を返し、レジに向かいました。そのとき私の頭
に浮かんだ考えは、「今のようないやあな気持ちをい
つまでも引きずりたくない」ということでした。

「ちゃんと行動して、すっきりしたい」と思ったの
です。ふつとそんな気持ちがわき起こったのが、自
分としても不思議な感じでした。戻って店員さんに
説明すると、「どうもありがとうございます。」と
3回くらいお礼を言われ、やっぱり引き返して正解
だったなど、思いました。(当然といえば当然、当
り前の行動なんですけどね。)

昔から「お天道様が見ている。」や「天知る、地知
る、己(おのれ)知る。」という言葉があります。自
分をごまかさない生き方を大切にしたいものです。
これは学校の道德の項目でいうと「公正、公平、社
会正義」「よりよく生きる喜び」という内容になりま
す。

最近のニュースを見ると、ある会社がダンパ
ーといわれる免振装置のデータを都合のいいように
改ざんしていたと報道されています。会社の経営を
考え、お金を儲けることが優先されたのかもしれま
せん。しかし、製品は地震対策の装置なので、人命
にかかわる大切な物です。善悪の判断の目が曇つて
はならなかったと思います。(最近スタートしたテレ
ビドラマ「下町ロケット」シリーズは私も好きで見
ているのですが、同じようなテーマですよ。)

大人だってこんな風に迷いながら、悩みながら、
生きています。中学生ならなおさらです。生徒たち
には揺れ動く気持ちを正直に道德の授業の中で出し
てほしいと思います。そのことによって考える力や
正しい判断力が身に付いていくものです。これからの
日本を支える中学生には将来正しい判断ができる
大人になってほしいと思います。

この記事を書いた後、中学生のバスの利用の仕方
が悪いという事例の報告がありました。このように
すぐ連絡をもらえるような地域とのつながりがあり
がたいと思います。学校でも指導していきます。

「お天道様が見ている。」

「天知る、地知る、己(おのれ)知る。」

ご家庭でも話題にしていただけだと思います。